

ごみゼロ(廃棄物)部会

ごみゼロ部会では、リユース
食器の導入や、水飲み・給水
インフラ導入推進、食品ロス
の削減等に取り組んでいる



参加団体



NPO iPledge
(アイプレッジ)



持続可能な社会を
つくる元気ネット



水Do!ネットワーク



認定NPO法人
スペースふう



地域環境デザイン
研究所ecotone



地球・人間環境
フォーラム

問題意識

● 大規模なイベントは短期間に膨大な廃棄物が排出される。東京2020大会では、大量生産・大量消費・大量廃棄ではなく、3Rの優先順位に沿った様々な方法を用いて、ごみゼロを目指した大会運営がなされるべき。東京2020大会を契機に、脱使い捨ての取り組みを定着させ、循環型社会の構築を。

目指すもの

- スポーツ施設、お祭やさまざまなイベントにおいてリユース食器が日本の文化として、定着する
- 水飲み場、水筒への給水可能なインフラをスポーツ施設や街中に増やし、人々の行動変化とともにレガシーとする
- リサイクル金属使用によるメダルや高度資源化、食品ロス削減に努め、レガシーとして社会へ定着する

実現のために...

提言

使い捨て容器に替えて、繰り返し洗って使用する
リユース食器(リユースカップ)を導入

実践

リユースカップが普及するフランスの取り組みを視察

- ▶日本に適した方式を検討

実践

味の素スタジアムでのリユースカップ導入

- ▶JリーグFC東京、東京ヴェルディ ホームスタジアム
- ▶2019年ラグビーワールドカップ開幕戦会場
- ▶東京2020大会会場(サッカー、近代5種、7人制ラグビー)

実践

大規模な食のイベントでリユースカップを導入

- ▶全国各地にある洗浄施設と連携
- ▶オペレーションを検証

実現のために...

提言

公共の場に水飲み場や水筒への給水可能なインフラの導入を働きかけ、利用を推進する。

実践

調査および普及啓発活動

実践

モデル的な水飲み・給水インフラの設置

提言

各ステークホルダーと連携し、廃棄物の高度資源化および食品ロス削減がレガシーとして社会に定着する

実践

全国的な普及啓発活動

実践

東京2020大会終了後に向けた準備